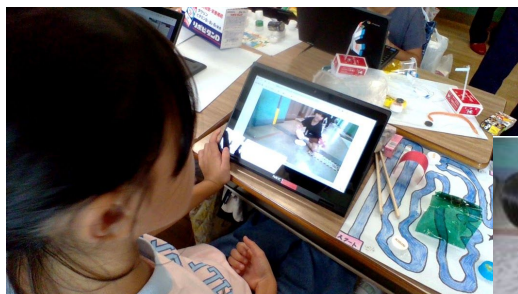


リーディング DXスクール事業【実践事例】

興本扇学園足立区立興本小学校(東京都)【指定校】

【取組内容①】 第2学年 生活科「作ってためして ～めざせおもちゃはかせ～」
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

本単元では、身近にある物を使っておもちゃを作ったり、そのおもちゃで遊んだりすることで、手作りのおもちゃの楽しさを感じることがねらいである。活動の中で友達と関わり合いながら、友達のよさや協力することの大切さに気付くことを目指した。この活動では「どうやって動かすのか」が大きなテーマとなる。端末のカメラ機能及びオンラインホワイトボードを活用しておもちゃの作成記録を作成し、おもちゃを改良するときに、前時の活動を自分で振り返り、改良を比較することをねらいとした。



成果

オンラインホワイトボードを活用することで、個人の学習の積み重ねができる。ポートフォリオとして、前時の活動を自分で振り返って改良を比較することができ、これまでのおもちゃの進化の軌跡を実感することができていた。また、それらをクラスで一目で共有できる良さがある。

課題

低学年では、ICT機器の操作で手一杯になり、それを活用して教科の学習の中で生かしていくためには工夫が必要となる。そのため、徐々に使い慣れて成果を積み重ねていけるよう、日常的にICT機器の操作を取り入れている。